

1. 件名：高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チームに関する面談（3）

2. 日時：令和5年3月15日（水）17：00～18：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

技術基盤グループ 技術基盤課 照井課長補佐

原子力規制部

原子力規制企画課 藤森企画調査官、湯澤課長補佐、伊藤係長、今田係員

審査グループ 実用炉審査部門 塚部上席安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 設備技術グループ 副長 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部 保全計画グループ マネジャー 他1名

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力設備グループ） 副長 他1名

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

5. 要旨：

○原子力事業者等から、高経年化した発電用原子炉の安全規制に関する検討チーム（以下「検討チーム」という。）第3回会合において原子力事業者等として説明を予定している資料案の説明があった。

○原子力規制庁から、説明のあった資料案については、第3回検討チームに向けて引き続き作業を進めるよう伝達した。また、検討チームでの制度移行に関する議論は、これまでの検討チームで示したとおり現行制度を統合・整理して整備することとしている旨改めて伝達した。

○原子力事業者等から了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

資料 原子炉圧力容器の経年変化に関する運用・評価の適正化について